
第6報 平成23年3月30日

東北関東大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

【石油製品】

元売り各社の製油所は、被災により停止している一部を除いて順次稼働を再開。関東地区への供給量も増加しており、在庫不足はほぼ解消している。

【ストレートアスファルト・改質アスファルト】

JX日鉱日石エネルギーの根岸製油所は、21日より稼働を再開しガソリン、灯油等の石油製品の生産を始めているが、アスファルトについては出荷のめどがたっていない。コスモ石油の千葉製油所も、アスファルトの出荷再開までには長期間を要する見通し。

【木材】

被災地への復旧用として、杭丸太などを中心に仮設用木材への引き合いが集中しているが、輸送用等の燃料不足に加え、計画停電による工場の稼働率低下などもあり、供給は不安定な状況。

【問い合わせ先】

財団法人 経済調査会
第一調査部
TEL 03-3543-1471

京浜地区 石油製品製油所 出荷状況について

2011/3/29現在
財団法人 経済調査会

製油所/会社名	所在地	製品出荷状況		工場の損傷の有無	備 考	
		海上出荷	陸上出荷			
JX日鉱日石エネルギー	根岸	×	○	特に無し	3/21から稼働再開(海上出荷は可能だが陸上出荷を優先)	
	鹿島	×	○	有(海上出荷設備の損傷)	再開日 未定(海上出荷の予定は未定)	
コスモ石油	千葉	△	○	有(隣接するLPGタンクの損傷)	再開日 未定(3/28海上出荷一部再開)	
東燃ゼネラル	エクソンモービル	川崎	○	○	特に無し	被災地への出荷を優先
極東石油		千葉	○	○	特に無し	被災地への出荷を優先
東亜石油	昭和シェル	川崎	○	○	特に無し	被災地への出荷を優先
出光興産	千葉	○	○	特に無し	被災地への出荷を優先	
富士石油	袖ヶ浦	○	○	特に無し		

【製油所全体の概況】

被災により停止している一部の製油所を除き、順次、精製装置の稼働を再開し、関東地区への出荷量は増加している。各元売は、被災地への出荷を優先しているが、関東地区への供給量はほぼ通常どおりとなっている。

【関東地区のガソリンスタンドの状況】

製油所からの出荷が増加し、被災地への出荷を優先している状況ではあるが、スタンドへの供給量も増加し、在庫不足はほぼ解消されている。

【当会の市場価格調査の結果】

最新の価格情報(3月22日発刊予定 デジタル物価版石油製品編3月下旬号)では、上記により、東北地区(6県)、関東地区(1都6県)の市場価格の掲載はしていません。

【ストレートアスファルト供給情報】

①製油所の状況について

2011/03/29確認

製油所・工場名	所在地	稼動状況	出荷状況		備考	
			陸上出荷	海上出荷		
JX日鉱日石 エネルギー	仙台製油所	宮城県	×	×	×	震災の影響により出荷再開時期未定
	鹿島製油所	茨城県	×	×	×	震災の影響により出荷再開時期未定
	根岸製油所	神奈川県	×	×	×	出荷再開に向け調整中
コスモ石油	千葉製油所	千葉県	×	×	×	火災は鎮火したが、出荷不可長期化
	四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
	堺製油所	大阪府	—	—	—	2010年3月より生産停止 (燃料油は問題無く生産・出荷中)
	坂出製油所	香川県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
昭和シェル	東亜石油(株) 扇町工場	神奈川県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
	昭和四日市石油(株) 四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
	西部石油(株) 山口製油所	山口県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
出光興産	千葉製油所	千葉県	○	○	○	ただし、3月末で販売終了を予定。

※稼動状況については、工場が製造を継続している場合は○、稼動していない場合は×で表示。

※出荷状況については、出荷している場合は○、出荷していない場合は×で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

今回の震災により、現在、関東、東北地区において稼動している製油所は、出光興産、昭和シェル(東亜石油)の2社2製油所である。また、JXの根岸製油所は、燃料油の製造は再開したが、アスファルトの出荷はまだ行っていない。
元売り各社による二次基地への転送が確認できているのは、東北地区においては、青森県、秋田県である。関東地区においては、今のところは、各都県で流通しているものの、今後の状況によっては、生産拠点の減少により、過度な需要には対応が困難になることも予想される。

【改質アスファルト供給情報】

①製造拠点(工場等)の状況について

2011/03/29確認

工場名		所在地	稼動状況	出荷状況	備考
日進化成	東北工場	岩手県	○	○	工場用A重油は入荷済み 原料のストア入荷が新潟、青森から始まる。
	関東工場	埼玉県	○	○	原料ストア入荷は安定。 その他問題なし。
ニチレキ	青森工場	青森県	○	○	原材料、燃料の入手が難しい
	仙台工場	宮城県	×	×	津波の影響により被災、再開の時期未定
	千葉工場	千葉県	○	○	原材料、燃料の入手が難しい
東亜道路	青森工場	青森県	○	○	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	岩手工場	岩手県	○	○	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	宮城工場	宮城	×	×	設備その他すべて不能。(復旧の見込み無し。全壊。)
	福島工場	福島	○	×	設備等修復。稼動開始。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	茨城工場	茨城県	○	○	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	群馬工場	群馬県	○	○	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	千葉工場	千葉県	○	○	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	神奈川工場	神奈川県	○	○	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	長野工場	長野県	○	○	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
昭和シェル	瀝青化学 袖ヶ浦工場	千葉県	○	○	設備稼働に問題なし。一部の原材料が入手しづらくなっている。

※稼動状況については、工場が製造を継続している場合は○、稼動していない場合は×で表示。

※出荷状況については、出荷している場合は○、していない場合は×、燃料、原材料がなく出荷できない場合は△で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

ストアス、A重油および軽油が入荷未定、あるいは入荷しづらい状況が続いている。工場の設備には問題がなくとも、原材料のストアス、燃料の調達状況に難あり。

【木材】

木材に関わる東北関東大震災の被害状況は、震源地に近い宮城県や福島県に止まらず、9県（青森県・岩手県・新潟県・茨城県・栃木県・群馬県・長野県・千葉県・静岡県）にわたり、治山や林道関係で山腹崩壊や法面崩壊、地すべり等が報告されている。

現状、被災地への復旧向け木材として、杭丸太を中心に、ばた角、さん木などの仮設用木材に引き合いが集中している。被災地の山元では、製材等に必要な設備機械の故障は軽微であったが、輸送用等の燃料不足により、原木の供給に支障が生じ、つれて、製材品の品不足につながっている。このことから、被害の報告が比較的軽微であった近隣県（群馬県・栃木県・茨城県・長野県）に仮設用木材（特に杭丸太）の引き合いが殺到している。しかし、この近隣県においても、計画停電による工場の稼働率低下やガソリン・軽油などの燃料不足のため、供給が不安定な状況にある。

関東・東北を中心とした東日本では、原木調達が困難であることを映して、木材全般的に品薄状態となっている。このような状況で林野庁では、林業・木材関係団体に対して、買い占めや売り惜しみ、価格つり上げ防止といった適切な全国的木材の需給対応や生産・輸送に必要な燃料の調達への配慮、つなぎ資金の手当てなど金融関係の対策や、どれだけの資材を、いつ、どこへ供給が必要といったマッチング情報の提供などを要請している。

今後、仮設住宅の整備が更に進行していくと、仮設用木材だけでなく、柱や梁に使われる一般建築用木材への供給不安も一層増大していくものと見られる。

2011.03.30

財団法人 経済調査会